

<2021年度 オリンピック・ムーブメント事業>

JOCオリンピック教室

— 実施報告書 —

千葉県 千葉市立幸町第二中学校

Olympic
Movement



公益財団法人日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「オリンピック・ムーブメント事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手(オリンピック)は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことのできない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値(バリュー)等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

- 目的： オリンピアン(オリンピック出場経験アスリート)が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことのできるものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学2年生
- 講師： オリンピアン(オリンピック出場経験アスリート) ※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2021年4月～2022年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、
身体を動かすこと楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、
自身が感じたオリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



※学校の通常の授業時間に実施

※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ



2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、
あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、
生徒自身が自分ごととして捉え、今後活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した
自己紹介



オリンピック自身の経験に基づき「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって変動する場合があります

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

- 期 日：2021年10月21日(木)
- ク ラ ス：2年A組(33名)
- オリンピック：鶴岡 剣太郎 先生 (スキー / スノーボード)【出場オリンピック / トリノ大会】
- 授業のながれ：運動の時間(5時限)

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



- ・自己紹介の後、授業の目標は、①オリンピックとはどんなものかを探ってみる、②自分が少しでも向上できるものを見つける、③この時間を楽しむこと伝える。その目標を達成するための3つの約束は、①全力で取り組む、②全員で仲良く協力する、③話を良く聞くと伝え、準備運動に移る。
- ・ストレッチ等の後、じゃんけん勝ち抜けゲームを実施(全2回)。40秒間にゴール出来る人数の目標を立て、2回目に目標を達成する。

○主運動等



- ・マスクをする不便な生活の中で出来るゲームをしようと言い、声を出さずに30秒間で全員が誕生日順に並ぶよう伝え、1回で成功する。
- ・主運動は3班に分かれ、8の字跳び(全3回)を実施。ルール説明の後作戦タイムを設け、目標回数をホワイトボードへ記入し、ゲームを開始する。3回実施後、結果を発表。各班どんな目標を持って行ったかを聞き、「現実的な数より高い数の目標を掲げた」「飛ぶ人の距離やリズムよく回す工夫をした」等、意見が出た。



- ・運動の時間を振り返り、目標を高く持つことによってチームが団結し、そのことが皆自身の向上に繋がる。数を数えて呼吸を合わせる等、集中して行っていたことが良い結果に結びついたと話す。次の座学の時間では、運動の時間で気付いたことを書き出し、発表してもらう時間になると伝え、授業終了。

- 期 日：2021年10月21日(木)
- クラス：2年A組(33名)
- オリンピック：鶴岡 剣太郎 先生 (スキー / スノーボード)【出場オリンピック / トリノ大会】
- 授業のながれ：座学の時間 (6時限)

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



- ・オリンピックを探ろうと言う目標を思い出しながら、運動の時間に感じたこと、皆の意見を書き出して進めて行く伝える。
- ・オリンピックに出場した時の映像を見ながら、競技の説明と自己紹介をする。映像の中で、転倒したシーンを紹介し、人生最高の舞台で最悪の瞬間だったが、その経験があったからこそ今の自分がいると話す。
- ・オリンピックシンボルの意味、3つのオリンピックのバリュー「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」について説明をした後、個人ワークに移る。

○個人ワーク等



- 発問：①運動の時間に感じたことや身近なことをオリンピックバリューに当てはめてみよう。②課題や目標へ向けて今から何ができるか考えよう。
- 発表：①エクセレンス：「皆と話し合いをしたことで記録が伸びた」等、フレンドシップ：「失敗しても大丈夫だと声を掛けてくれた」「勝っても負けてもお互いに笑い合えた」等、リスペクト：「周りに気を配った」「自分が出来ることを一生懸命行った」等
- ②「これから勉強を頑張りたい」等



・苦手な事でも、やってみることが大切であり、一生懸命気持ちを込めてやるのが大事だと話し、皆も上手いかわない事があっても、途中で辞めるのではなく、少しずつ積み重ねて頑張ることで目標へ近づく。運動の時間のように、集中して取り組めば、難しいことにも挑戦して成功することが出来る。これからも皆のなりたい自分に向かって頑張る行って欲しいと伝え、授業終了。

- 期 日：2021年10月21日(木)
- ク ラ ス：2年B組(32名)
- オリンピック：鶴岡 剣太郎 先生 (スキー / スノーボード) 【出場オリンピック / トリノ大会】
- 授業のながれ：運動の時間 (3時限)

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



- ・自己紹介の後、授業の3つの目標は、①オリンピックはどんなものかを探ってみる、②自分が少しでも向上できるものは何か、向上するためには何が大切なのかを見つける、③この時間を楽しむ。その目標を達成するための3つの約束は、①全力で取り組む、②全員で仲良く協力する、③人の話を良く聞くと伝え、準備運動に移る。
- ・ストレッチ、バランス運動等の準備体操を実施。

○主運動等



- ・ボールパス回し(全2回)の後、じゃんけん勝ち抜け(全2回)を実施。40秒間に出来るだけ多くの人がゴールできるように作戦を考え、目標を達成する。
- ・主運動は3班に分かれ、8の字跳びを実施(全3回)。ルール説明後、1回目を行う。2回目の前に作戦タイムを設け、目標数をホワイトボードへ書いてからスタートする。2回目終了後、再び作戦タイムを行った後、3回目を実施。終了後に結果発表。「縄を回す速度を遅くして確実に跳べるようにした」「仲間同士で声を掛け合った」「跳び方のアドバイスをした」等の意見が出た。



- ・授業冒頭に話した、目標と約束を再確認し、次の座学の時間では運動の時間に感じたことや意見を発表してもらいたい。皆が一生懸命頑張って最後までしっかりやりきり、クラスのまとまりが見えたので嬉しいと話す。次の時間も楽しい時間に行きたいと伝え、授業終了。

- 期 日：2021年10月21日(木)
- クラス：2年B組(32名)
- オリンピック：鶴岡 剣太郎 先生 (スキー / スノーボード)【出場オリンピック / トリノ大会】
- 授業のながれ：座学の時間 (4時限)

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



- ・挨拶の後、今日の授業をとっても楽しみにしていたと話す。皆に苦手な教科があるかを聞き、苦手教科があると、心の中で限界を作ったり、扉を閉めてしまうことがある。今日をきっかけに、今までで避けていたことをやってみようと言う気持ちになってもらえたら嬉しい。
- ・オリンピック出場時の映像を見ながら、転倒の場面を紹介し、人生最高の瞬間と最悪の瞬間を味わったが、その経験があるから今があると話す。
- ・オリンピックシンボルの意味、3つのオリンピックバリューについて説明した後、自身の経験談を話し、個人ワークに移る。

○個人ワーク等



- 発問：①運動の時間で感じたことをオリンピックバリューに当てはめて考えてみよう。②今後の目標を考えてみよう。
- 発表：①エクセレンス：「途中であきらめずに8の字跳びを最後まで頑張った」等 フレンドシップ：「みんなで相談して決めたことで団結力が強まり、目標を達成できた」「失敗しても、大丈夫、と声を掛け合った」等 リスペクト：「周りの人に教えてもらい自分も周りの人に教えることが出来た」等
②「英語の勉強を頑張る」「部活の中で一つ一つの練習を大切にする」等



- ・今日のこの日はもう二度と来ないと思って、毎日を大切に過ごして欲しい。オリンピックは参加する事に意義がある、と言う言葉があるように、皆も今日学校に来て、授業に挑戦したことがとても大切なことだと話す。これからも、色々なことに参加し、難しいことにもチャレンジして課題達成が出来る人、なりたい自分になって欲しいと話し、授業終了。

- 期 日：2021年10月22日(金)
- クラス：2年C組(32名)
- オリンピック：須佐 勝明 先生 (ボクシング)【出場オリンピック/ ロンドン大会】
- 授業のながれ：運動の時間(3時限)

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



- ・自己紹介の後、ボクシングを体験して欲しいと伝え、希望した生徒2名がグローブを装着し、ストレートパンチを体験する。
- ・3つのオリンピックバリューについて、「エクセレンス」= 全力、卓越、「フレンドシップ」= 友情、仲良く一緒に頑張る、「リスペクト」= 尊敬、尊重だと話す。
- ・準備体操の後、ボクシングの動きを入れながら、体育館を2周走る。

○主運動等



- ・新聞じゃんけんバランスを実施。新聞を4つ折りにしてその上に立つ。先生とじゃんけんをして負けたら新聞を半分に折り、その上に立っていられなくなったら座る。終了後、主運動に移る。
- ・主運動は、バス回しリレーを3回実施。班ごとに分かれ、バスケットボール、バレーボール、ソフトボール、卓球ボールをそれぞれ順番に回し、落とさずに早く回せた班の勝ち。ボールを落とした場合は、班の全員でバービージャンプを行う。



- ・作戦タイムで考えた内容を発表。「ボールによって投げる速さを変えた」「落とさないために下から投げた」等、全力で取り組み、相手を思いやる気持ちは、オリンピックバリューである「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」に繋がる。次の時間では、運動の時間に感じたオリンピックバリューをさらに掘り下げて考える時間にしたいと伝え、授業終了。

- 期 日：2021年10月22日(金)
- クラス：2年C組(32名)
- オリンピック：須佐 勝明 先生 (ボクシング)【出場オリンピック/ ロンドン大会】
- 授業のながれ：座学の時間(4時限)

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



- ・オリンピック出場時の映像とスライドを見せ、競技の説明と一緒に写る選手の紹介をし、海外での経験談を話す。
- ・クーベルタンによって1896年にアテネ大会が開催され、オリンピックの歴史が始まった。オリンピックの目的は、平和を願うスポーツの祭典である、3つのオリンピックバリュー「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」があると伝え、個人ワークに移る。

○個人ワーク等



- 発問：運動の時間に感じたオリンピックバリューについて考えてみよう
- 発表：エクセレンス：「ボールを落としても諦めずに続けた」等
- フレンドシップ：「小さな卓球ボールの投げ方を工夫して、相手を取りやすいようにした」等
- リスペクト：「ルールを守り、お互いを理解し合って作戦を立てた」等



- ・オリンピックバリューの3つの価値は、皆の普段の生活でも使うことができる。今後、高校受験や就職等、苦しい時が必ずあると思うが、その時に今日のオリンピックバリューを思い出して、前向きに頑張ることを伝え、授業終了。

- 期 日：2021年10月22日(金)
- クラス：2年D組(32名)
- オリンピック：須佐 勝明 先生 (ボクシング)【出場オリンピック/ ロンドン大会】
- 授業のながれ：運動の時間(5時限)

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



- ・自己紹介の後、ボクシングを体験して欲しいと話し、希望する2名の生徒がグローブを装着し、ストレートパンチを体験する。
- ・オリンピックには2つの目的がある。ひとつはスポーツを通じて世界のトップを狙うこと、もうひとつはオリンピックバリューだと伝える。オリンピックバリュー(価値)の3つの意味は「エクセレンス」=卓越、全力、一生懸命やる、「フレンドシップ」=友情、「リスペクト」=尊敬であると話す。
- ・準備体操は、陸上自衛隊で行っている体操を全員で実践し、その後体育館を2周走る。

○主運動等



- ・新聞じゃんけんバランスを実施。新聞を4つ折りにしてその上に立つ。先生とじゃんけんをして負けたら新聞を半分に折り、その上に立っていられなくなったら座る。終了後、主運動に移る。
- ・主運動は、バス回しリレーを3回実施。班ごとに分かれ、バスケットボール、バレーボール、ソフトボール、卓球ボールをそれぞれ順番に回し、落とさずに早く回せた班の勝ち。ボールを落とした場合は、班の全員でバービージャンプを行う。



- ・班毎に作戦内容を発表。「大きいボールは早く、小さいボールはゆっくり投げた」「難しいボールから投げた」「皆で仲良く、笑顔を意識して回した」等、意見が出た。その意見が3つのオリンピックバリューに繋がると話し、次の時間では、運動の時間に感じたオリンピックバリューをさらに掘り下げて考える時間にしたいと伝え、授業終了。

- 期 日：2021年10月22日(金)
- ク ラ ス：2年D組(32名)
- オリンピック：須佐 勝明 先生 (ボクシング)【出場オリンピック/ ロンドン大会】
- 授業のながれ：座学の時間(6時限)

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



- ・スライドと映像を使用し、海外遠征の写真の説明や減量のエピソードに加え、10年前、福島県の被災地に復興支援のお手伝いに行ったと話す。
- ・オリンピックバリューの3つの意味を考え、運動の時間でどんなことを考え、感じたかを書き出してみようと伝え、個人ワークに移る。

○個人ワーク等



- 発問：運動の時間に感じたオリンピックバリューを考えてみよう
- 発表：エクセレンス：「3回戦とも良い順番ではなかったが、諦めずに最後まで出来た」等
- フレンドシップ：「毎回チームで声を掛け合って一致団結することができた」等
- リスペクト：「拍手することはリスペクトだと感じた」「他の班の皆にも頑張ったと伝えるために拍手することは大事だと感じた」等



- ・オリンピックバリューの3つの価値は、普段の生活でも使うことが出来る事を運動の時間で実践してもらった。今後、高校受験等、色々なライフプランの変化の中で、決断しなければいけない時、辛くなった時、今日を思い出し、感謝の気持ちを忘れずにいて欲しいと話し、授業終了。

■集合写真

・2年A組



・2年B組



■集合写真

・2年C組



・2年D組



■ 記念品贈呈

・2年A組



・2年B組



・2年C組



・2年D組



■ 修了証贈呈

